

公立大学法人埼玉県立大学 平成29年度 業務実績報告書の概要

～法人化8年目であり第2期中期計画2年目の実績、中期目標（H28～H33）の達成に向けたH29年度の実績～

平成29年度業務実績報告書における自己評価結果一覧

大項目別	S (年度計画を上回って実施)	A (年度計画を十分に実施)	B (年度計画を十分に実施できず)	C (年度計画を実施せず)	計	S・Aの比率 (H28実績値)
I 教育・研究等の質の向上	4	81	0	0	85	100.0% (100.0%)
1 教育	1	34	0	0	35	100.0% (100.0%)
2 学生支援	0	24	0	0	24	100.0% (100.0%)
3 研究	2	13	0	0	15	100.0% (100.0%)
4 地域貢献産学連携	1	10	0	0	11	100.0% (100.0%)
II 業務運営の改善・効率化	0	10	0	0	10	100.0% (100.0%)
III 財務内容の改善	0	6	0	0	6	100.0% (100.0%)
IV 自己点検・評価	1	4	0	0	5	100.0% (100.0%)
V その他	0	11	0	0	11	100.0% (100.0%)
合計	5	112	0	0	117	100.0% (100.0%)

III 中期目標4つの数値目標の達成状況

数値目標	H28実績値	H29実績値
1 進路決定率 (目標: 100%)	98.8%	98.3%
2 県内就職率 (目標: 60%)	54.2%	55.8%
3 科研費採択 (目標: 65件)	68件	65件 〔暫定値(※1)〕
4 自主財源比率(※2) (目標: 44.0%)	43.7%	44.7%

※1 H29実績値については4件が審査中のため暫定値。
(7月に審査結果が判明する予定)

※2 実績値は(運営費交付金+自主財源)を収入として算出した。
また、退職手当や高額備品などの特殊経費は考慮外とした。

I 年度計画を上回って実施している項目 (S評価)

①年度計画◆6

リカレント教育に資する時間割編成やカリキュラムの検討
→ 大学院生の履修利便性に配慮したカリキュラムを検討した。
その結果、当初の計画を前倒して、学則等を改正の上、
新カリキュラムを編成した。

②年度計画◆63

科学研究費助成金の応募率や外部資金の獲得
→ 科研費応募率は94.7%と目標の90%を上回った。
厚生労働省補助金(2件)や県の産学プロジェクト補助金(1件)で
1,000万円を超える外部資金を3件獲得した。

③年度計画◆73

知的財産権の獲得に向けた支援、特許権の新規獲得
→ 新たに1件の特許が認められた。

④年度計画◆77

自治体や保健医療福祉施設、団体等への講師派遣及び自治体の
審議会、委員会等への教員派遣
→ 自治体等への講師派遣〔目標:300件 → 実績:487件〕
→ 審議会、委員会等への教員派遣〔目標:80件 → 実績:221件〕

⑤年度計画◆103

認証評価受審や点検・評価報告書の作成
→ 点検・評価報告書を作成した。
自己点検の中で、大学運営上の課題を整理し、大学の基本方針
の策定や所要の規則改正等を行った。
また、教育の内部質保証に向けて、研究科の組織運営の見直し
等を行った。

II 年度計画を十分に実施していない項目 (B評価)

該当なし

IV まとめ

【自己評価結果の分析と今後の展望(課題)】

S評価項目数 H28:1件 ⇒ H29:5件
(教育研究等の質の向上の重視)

①進路決定率

分析:非正規雇用5名・就職未定者2名(就職希望者419名)
今後:学年担任教員による個別面接等きめ細かい進路支援の実施

②県内就職率

分析:県内民間企業の就職が少ない
(病院に就職した卒業生の6割以上は県内)
今後:県内就職先の研究強化と学生への情報提供

③科研費採択(文部科学省所管の科学研究費助成金)

分析:目標達成
(研究支援チームの編成⇒学内研究者の相談・支援の強化)
今後:科研費以外の外部研究資金も積極的に取り込む

④自主財源比率

分析:目標達成(国、民間団体の外部資金獲得の取組の強化)
今後:現在の取組を継続し、さらに自主財源比率を高める